

Reqtify

開発プロジェクトや製品ライフサイクル全般にわたる
要件の収集、トレースやインパクト分析に効果的な
要件管理ソリューション

要件トレーサビリティとインパクト分析

要件管理は、プロジェクト管理のベストプラクティスとして広く認識されています。今や要件管理は、CMMI（能力成熟度モデル統合）のレベル2以上ならびに下記の各業界の認証に欠かすことができない必須項目となっています。

- 航空 (DO178B,C / DO254)
- 鉄道輸送 (IEC61508 / EN5012x)
- 自動車 (AutomotiveSPICE / ISO26262)
- 医療システム (IEC62304 / FDA 21 CFR)

要件は、Word, PDFやExcelのスプレッドシートなど、様々な書式で記述されており、その情報の保存先も、DOORSのモジュール、社内で開発されたツールやバグ追跡システムなど様々です。更に各プロジェクトの開発、検証や認定プロセスでは、多くの場合、複数のベンダーから提供される幅広い種類のツールが使われます。Reqtifyを構成するツールセットは、プロジェクトチームの各メンバーがこうした複雑な情報源に惑わされることなく、それぞれの担当業務（実装や検証など）に専念し、効率良く成果を出せるようにします。

認証基準に適合

認定とは、各認証当局が検証プロセスに掛かる手作業の負荷を軽減するか、その代わりにする有効なツールや代替手段が用いられていることが確認できた時に下される判定結果です。

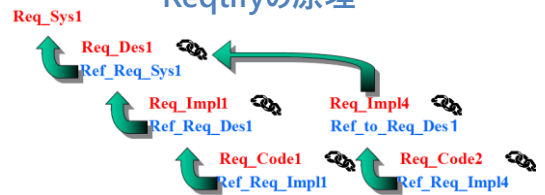
Reqtifyは、CMMI, AutomotiveSPICE(自動車), DO178B/DO254(航空), IEC61508/EN5012x(鉄道輸送), FDA(医療)など、各業界で求められる非常に厳しい品質基準に適合するようにプログラムされています。また顧客別には、AIRBUS社のA380とA340プロジェクトの認証プロセスにも適合するようにプログラムが追加されています。

容易な統合や運用

Reqtifyを利用するとデータベースからのインポートやデータの同期を意識することなく、連携されているツールに保存されているトレース情報を容易に入手できます。このユニークな機能を持つReqtifyは既成の要件管理プロセスへの統合も、すでに始動しているプロジェクトへの途中導入も容易に可能です。また、全エンジニアリング・チームへの展開も速やかに行えるため、Reqtify導入後、各チームのエンジニアたちは直ちに日常業務に専念でき、開発や検証用ワークベンチ上で要件を追跡する作業を非常に効率よく進めることができます。このようにReqtifyをプロセスに取り込むのにさほど時間を要しません。通常は1日足らずで実装を完了できますので、それから間もなくしてReqtifyが生成する最初のレポートの出力内容を見れば、いかに投資対効果の高いツールを導入したかをすぐに実感できるはずです。Reqtifyを採用している大手クライアントの多くは、3DEXPERIENCE、DOORSといった要件記述用ツールをシステムに取り込み、Reqtifyを全プロジェクトの自動要件追跡、インパクト分析やレポートの生成・出力に活用しています。

Reqtifyは開発ツールのファイル中に直接、要件管理のためのタグを挿入し、各要件とのリンクを付け管理ができるようになっています。過去の変更をたどるための履歴情報をトレースし、インパクト分析を円滑に行えるようにする効果的で利用しやすいソリューションです。

Reqtifyの原理



業界最多の対応インターフェース

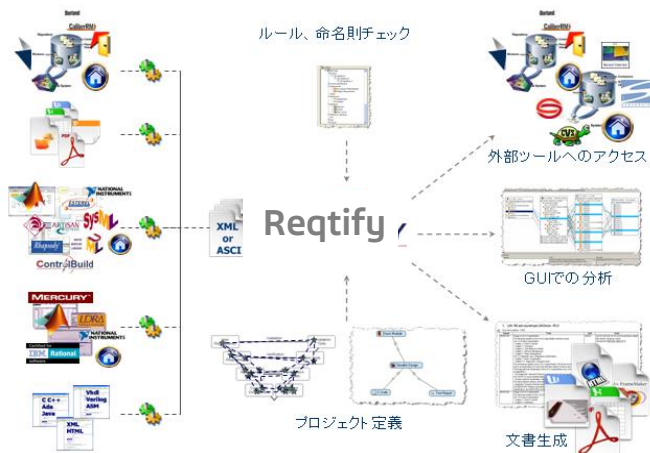
Reqtifyはエンジニアリング業務に必要なあらゆる要求に適合できるよう、標準的に使われている多くのファイルやアプリケーションへ連携できるインターフェースを包括的に取り揃えており、その対応範囲の幅広さは業界随一です。

対応インタフェース(一例)

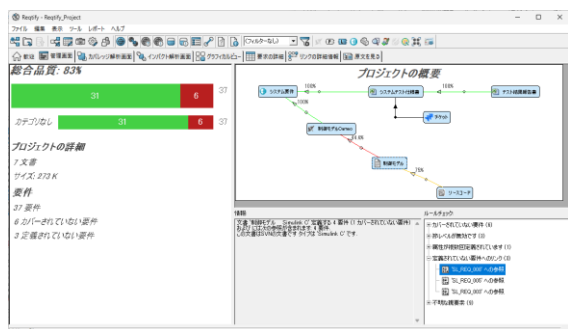
- オフィスツール：Microsoft Office(Word, Excel)、Adobe Acrobat(PDF)
- プロジェクト管理用ツール：3DEXPERIENCE、Microsoft Project
- 要件管理用ツール：DOORS、Codebeamer
- 課題・チケット管理用ツール：Redmine、Bugzilla
- SysML/UMLツール：CATIA Magic、Rhapsody、Enterprise Architect
- MBDツール：Simulink、SCADE
- 構成管理用ツール：Subversion(SVN)、PVCs
- 統合開発環境：Visual Studio、Text、ソースコード

主要機能

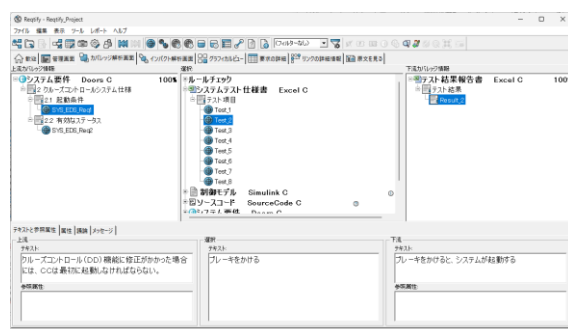
要件取り込みイメージ



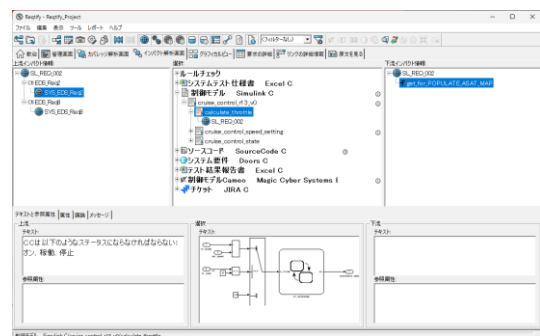
①管理画面 プロジェクト内の要件情報のサマリを表示



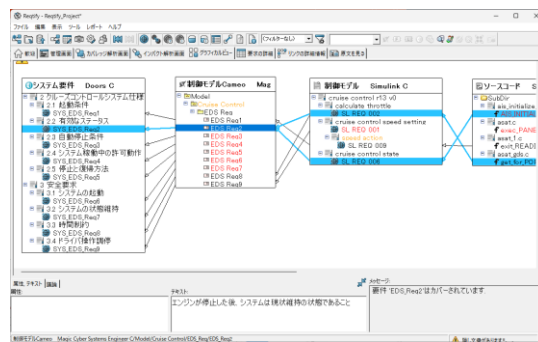
②カバレッジ解析画面 要件が参照（カバー）する／される要件を表示



③インパクト解析画面 1つの要件からの上下の参照（カバー）関係をすべて表示



④グラフィカルビュー 全ての要件と参照（カバー）関係をツリー形式で表示



Reqtifyは多層的／双方向的な要件追跡やインパクト分析能力として各業界の品質・認証基準で求められている機能をすべて備えています：

- プロジェクト全体を通しての要求事項変更、改訂、削除のトラッキング
- 上流・下流工程へのインパクト分析
- 変更点の自動検出
- 強力なフィルター機能付きエディタによる広範／詳細な分析
- カスタマイズ可能なレポートの自動生成
- 要件交換フォーマット(RIF)を使ったXMLベースの仕様のインポート/エクスポート (Reqtify-RIF オプション使用時)
- ワードまたはPDF形式の文書から直接、要件を直観的に、素早く抽出 (Reqtify-Tagger オプション使用時)
- 自動プロジェクト・レビューをサポート (Reqtify-Reviewer オプション使用時)
- 動作環境：Windows 11